

2015年8月3日

松阪市議会

議長 水谷晴夫様



松阪市議会議員

日本共産党 久松倫生

建設政策研究所主催の地方議会議員研修会（7月30日・31日＝大阪市内）に政務活動費を活用して参加しましたので報告いたします。

全体のテーマが「地域を生き、住民が輝く自治体づくりをかんがえる」であり、1日目記念講演が岡田知弘京大大学院教授の「住民一人ひとりが輝く自治体をいかに再生するか～自治体消滅論を超えて～」であり、2日目の講義Aが森裕之立命館大学教授の「地方創生と公共事業～地域を守る地方財政の課題～」であったので、昨年5月の自治体消滅論（いわゆる「増田レポート」）から、地方創生の政策にいたる総体的な研修ができると思い参加を決めました。

1日目 「住民一人ひとりが輝く地域をいかに再生するか」 岡田知弘氏について

講義要旨 別添資料

岡田氏の著書の『「自治体消滅」論を超えて』を購入し、合わせて勉強しました。

2014年5月の自治体消滅論（いわゆる「増田レポート」）の根拠そのものに疑問を呈しその後の、政府の地方政策を系統的に検証されました。

そのこと自体が、この間の自治体政策、地方創生政策を系統的に整理できたと思います。

大規模災害が繰り返される今の現状のもと、自治体、職員、議員、住民の役割につきつけられている課題、経済グローバル化の「地域」と「経済領域」の乖離、地域をつくっていく主体としての中小企業、業者、農家…地方自治体 それらの力をつける課題など わかりやすかったし、取り組みの視点、角度を整理できたと思います。

実践論のなかで、小さくても輝く自治体の実践だけでなく、横浜市といった大きな自治体の検討があって、松阪などの規模での検討に生かせるかなと思っています。

ただ、新しい解明はそれほどなくて、物足りなさを実感したのも否めません。

なお1日目は、離島経済新聞社の鯨本あつこ氏の特別講演もあり、実践編でしたが、聞きおいた程度であったのは残念です。

2日目 「地方創生と公共事業～地域を守る地方財政の課題～」 森裕之氏について

講義要旨 別添

1、地方創生と自治体 では、2014年～15年にかけての「総合戦略」にいてる経過が整理され、「地方創生」のといわれるものの本質がよくわかりました。

その上で、2公共施設と地域再編では、公共施設マネジメントについて「白書」づくりが進みながら「立地適正化計画」へもっていく内容などよくつかめました。「公共施設等総合管理計画」の財政措置、地方債の使われ方など理解がすすみました。3、公共施設の統廃合問題—先行事例—でいくつか示されましたが、トップダウンの公共施設マネジメントはうまくいっていないという解明でした。公共施設の統廃合、縮小と地域をかしこく縮小することが課題とされました。松阪の実践に取り組む力にできると思いました。